

2006年5月10日

オーストリア日本人会

Japanische Gesellschaft
in Österreich

Untere Viaduktg. 53/3a A-1030 Wien

☎ 7103111 Fax. 7147033

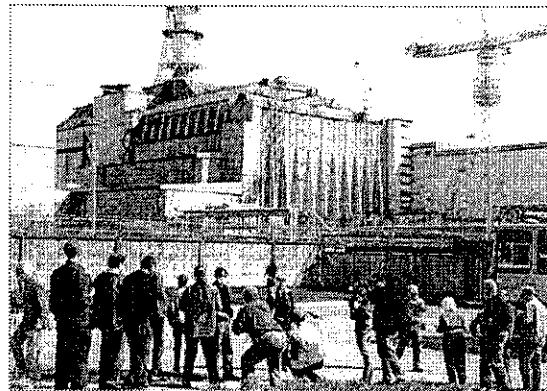
E-Mail jg@nihonjinkai.at

Mo. -Fr. 9:00~13:00

チエルノブイリ事故 20 年に想う

日本原子力研究開発機構ウィーン事務所 杉本 純

今年の4月26日はチエルノブイリ事故20年に当たる。事故当時、私は日本原子力研究所から原子力安全委員会の事務局である科学技術庁原子力安全調査室に出向していた。当時のソ連政府が情報を抑えていたため、事故の第1報は1986年4月30日未明だった。朝出勤すると大騒ぎになっていた。原子炉の構造や事故に関する情報が極めて少ない。それでも国会想定問答を作成し徹夜で局長にレクをした。年配の局長もそのまま一睡もせず国会で答弁するのには驚いた。ある議員が事前にはない質問をしたので、局長の横で慌てて回答を紙に書いて凌いだこともあった。「空中戦」と呼ぶことを後から知った。原子力安全が専門の I 先生が訪問された際、「ソ連の事故は反応度事故(出力が暴走する事故)ということはないでしょうか」と当てずっぽうに聞いたら、「商用原子炉で反応度事故が起きるはずがない」と皆の前で一喝された(実際は反応度事故だった)。宝塚少女歌劇団の事務長から電話があり、「6月にキエフで1週間公演の予定があるが大丈夫か」との相談を受けた。当時、WHO(世界保健機関)が「離れた場所では放射線障害の恐れはない」と報告していたので、それを紹介した(キエフからチエルノブイリまでは約120km)。結局公演をキャンセルしたと後から聞いたが無理もないと思った。



事故のあった原子炉 (IAEAのHPより)

原子力安全委員会にソ連原子力発電所事故調査特別委員会が設置され、全体取りまとめの主担当を命じられた。委員会の運営、情報の収集・分析、会議資料の作成、報告書の作成等に奔走した。昼食を取る時間がなく、会議場まで歩きながらパンを食べたこともあった。その年の8月下旬IAEA(国際原子力機関)で開催された事故レビュー会議にソ連から報告があり、原子炉が設計上不安定なこと、原子炉を用いた試験中に反応度事故が発生したことなど事故の全貌が明らかになった。ソ連からの情報を基に中間報告書を作成し9月に発表した。翌年5月には最終報告書までこぎ着けた。発表前夜は関係省庁との合議のため担当者全員一睡もせず、朝から夜まで続く委員会に臨み、報告書を逐一説明し、数々の質問に答え切った。皆若かったこともあったが未曾有の大事故に際し、いわば原子力の国難に対処する使命感もあったのだと思う。

その後原研に戻り、報告書で重要性を提唱したシビアアクシデント(炉心損傷事故)研究に約10年間携わった。研究室長として6年半研究を陣頭指揮し、国際会議を毎年主催した。研究成果が日本原子力学会賞を受賞するなど、30年に及ぶ研究生活では感慨深い研究である。確率論的安全評価やシビアアクシデント研究の成果を踏まえ、我が国の発電用原子炉はシビアアクシデント対策を施し、防災対策の拡充と併せて、安全性は格段に向上したと言える。

チエルノブイリ事故炉の半径30キロ圏内は今も居住禁止になっているが、住み慣れた土地を離れない住民もいる。IAEAとWHOが中心のチエルノブイリ・フォーラムは昨年9月、放射線被ばくによる死亡の累計予測を約4,000人と発表したが、その後WHOは約9,000人に訂正した。放射線影響の正確な予測は専門家でも難しいことを示している。事故の影響が国境を越えたため、国際協力の重要性が強く指摘され、その年のうちにIAEAの早期通報、相互支援の2条約が発効した。安全関係の国際協力が多数実施され、東側も参加し風通しが良くなつた。IAEAに原子力安全局が新設され、保障措置、科学技術と並ぶIAEAの柱として今日に至っていることも特筆される。

事故後、欧州の原子力は停滞したが、ここ数年、エネルギー需要増、石油価格高騰、地球温暖化への配慮から、フィンランドやフランスで新しい原子炉の建設が進められるなど、原子力エネルギーが世界的に言われている。2001年の9.11テロや最近の北朝鮮、イランの核問題を受けて、原子力安全は今や、安全(Safety)、セキュリティ(Security)、保障措置(Safeguard)の3Sが相互に強く関連することが指摘されている。チエルノブイリ事故はソ連崩壊の発端となり、放射線影響を今も与える大事件だったばかりでなく、私個人にも少なからぬ影響があった。これまで現地を訪問する機会に恵まれなかつたが、ウィーンにいる間に是非訪問したいと考えている。